

名護屋城博物館「出前講座」のごあんない

佐賀県立名護屋城博物館では、学芸員や国際交流員を講師として派遣する

「出前講座」を下記のとおり行っています。

日韓交流史や特別史跡「名護屋城跡並陣跡」、佐賀県の歴史・文化など、御要望に応じたテーマ・内容でわかりやすくお話しいたしますので、講演会や研修、授業などにぜひ御活用ください。



- 1 対象 学校の授業・講演会、生涯学習関係の講座、博物館見学等の事前研修などで、講師派遣を要望される団体
- 2 会場 お申込み団体の方で御準備ください。なお、派遣地域は原則として佐賀県内とします。
- 3 費用 講師派遣旅費をお申込み団体で御負担ください。
- 4 時間帯 原則として、平日の9～17時の間で時間設定をお願いします。休日や17時以降の時間帯を御希望される場合は、御相談の上で決定いたします。
- 5 申込み 原則として、講座開催希望日の1ヶ月前までに、本館へ御連絡ください。業務の都合により派遣が難しい場合もありますので、まずは電話で御相談ください。

6 講師およびテーマ

館長 いえだじゆんいち 家田淳一	<ul style="list-style-type: none"> ○もう一つの海外やきもの貿易—江戸時代、国交回復以後の朝鮮輸出 ○近代、肥前陶磁の朝鮮輸出 ○嬉野市志田東山の甕づくりの始まり ○朝鮮半島のやきもの—名護屋城博物館所蔵品からみた— 	副館長 たけしたまさひろ 竹下正博	<ul style="list-style-type: none"> ○松浦地方の仏像 ○蒙古襲来と九州の仏像 ○高麗時代の仏教美術
学芸課長 みやまきひろし 宮崎博司	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀県内の城と城下町について ○文禄・慶長の役と名護屋城 ○発掘調査にみる名護屋城と陣跡 ○名護屋での大名や人々の生活 	調査研究・ 史跡活用担当 係長 かとうこういち 加藤浩一	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀城跡の発掘調査について ○中世の出土銭について ○名護屋城跡と陣跡の保存整備について
企画普及担当 係長 ひさのてつや 久野哲矢	<ul style="list-style-type: none"> ○「黄金の茶室」と名護屋城 ○日記にみる文禄・慶長の役 ○書家・洪浩然の生涯 	主査 おおはしまさひろ 大橋正浩	<ul style="list-style-type: none"> ○近世武士の住宅史 ○佐賀の建築史 ○安土桃山時代の建築
主事 いいたちかえ 飯田周恵	<ul style="list-style-type: none"> ○秀吉の肖像—つくられるイメージ— ○螺鈿と蒔絵—日本と朝鮮の漆装飾— ○津和野亀井家伝来の資料について 	主事 つるしんじ 都留真司	<ul style="list-style-type: none"> ○新時代へのかけはし—文禄・慶長の役から国交回復へ— ○唐津街道の歴史 ○近代唐津の交通と「観光名所」
主事 すえみつひろし 末光博史	<ul style="list-style-type: none"> ○唐津の古墳について ○塩について—古墳時代から名護屋城の時代まで— ○城の一生(展示内容の解説) 	主事 とうなおき 唐尚暉	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀の古墳 ○名護屋城跡と陣跡について ○島津義弘陣跡の発掘調査成果
国際交流員 チョン イェウオン 千 譽沅	<ul style="list-style-type: none"> ○ハンガルの歴史 ○韓国の衣食住 ○韓国旅行の知識と会話 	会計年度任用 職員 はまわらなつき 萩原夏樹	<ul style="list-style-type: none"> ○松浦党の歴史～戦国期から江戸初期を中心に～ ○武士のもてなし～酒宴・連歌・茶の湯～ ○松浦党・鶴田家の儀礼書について

【お申込み・お問合せ先】

佐賀県立名護屋城博物館 (〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

TEL.0955-82-4906 (学芸課直通・担当宮崎) FAX.0955-82-5664

[E-mail] nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp [URL] <http://saga-museum.jp/nagoya/>